

涸沢の紅葉は最高

2017.9/30～10/2 Nさんと

涸沢の紅葉を見ようとNさんと約束していた。混雑する小屋泊はまっぴら御免となるから「テント泊」、ザックが重くてたどり着けるか？10KGのザックを背負っては今季何回か釣行・登山で体験したが、今回は12KGになってしまった。天気予報と紅葉の進み具合を総合的に判断して土曜日発の最悪の日程になってしまったが、何とも言えない紅葉を見れて冥土の土産になりました。

9/30 (土、快晴) Nさん宅に3時前～3:40 沢渡バスターミナル 5:05 発のバス
～5:35 上高地バスターミナル 5:40～6:30 明神～7:25 徳沢～9:00 横尾
9:15～9:50 本谷橋 10:00～12:00 涸沢テント場 (テント設営後テント場上部周辺散策・写真撮影) テントは1200張との事。

10/1 (日、快晴) 8:00～9:10 屏風のCOL～9:45 屏風の耳 10:20～
10:45 屏風のCOL～11:45 涸沢ヒュッテ (テラスで休憩) ～12:30 テント場
12:55～パノラマコース (テント場上部の見晴台など) 一回り～
13:55 ザイテングラード分岐～14:25 涸沢小屋 (テラスで休憩) 15:30～15:
35 テント場

10/2 (月、曇りのち小雨のち曇り) 6:40～8:10 本谷橋～9:00 横尾
9:15～10:10 徳沢～11:05 明神～12:05 上高地バスターミナル
12:40 発のバス～13:10 沢渡P 13:20～ (道の駅風穴の里で昼食、Nさん宅
経由ですずむし荘で入浴) 16:50 帰宅

沢渡発の上高地行始発バスは 4 : 40。1 時間前には沢渡バスターミナルに着いたが駐車場はすでに満車。少し上のアルピコの駐車場に停めて歩いてバスターミナルへ。タクシー乗り場や切符売り場にはすでに行列ができています。混雑は予想していたがこれほど早い時間からは想定外だった。アルピコ交通の対応も「ドル箱路線の繁忙期」とは言えない、係員が到着したのが始発時間の 20 分前。それから 2 つの切符自販機を稼働する（2 人の係員は窓口では発売せず、自販機のみ）のだから切符を手にしたのは 5 時。5 : 05 発のバスになってしまった。12KG のザックも最初は苦にならなかったが本谷橋からの登りが始まると肩に食い込んできた。下山者との擦れ違いで時間もかかってくるので肩が痛くてやっとの思いで涸沢に到着する。（上高地から 200 人以上の人に抜かされました）素晴らしい紅葉である。

涸沢到着



涸沢ヒュッテ付近は物凄い人だが、テントの数は予想に反して少なかったので一安

心する。しかしテント受付所は長い行列である。先に良い場所を探してテントを設置してしまう、それから受付所へ行く。テント・寝袋・コンパネの板（岩場が多いので快適に寝られるように 90X180CM位の）まで貸し出しているのはさすがだ。

（但し紅葉期は早期に予約済になる）落ちついてから、テント場上部へ写真撮影に出かける。

30日12時過ぎのテント場



見る角度や位置が変わると景色も変わってくるので新鮮で見飽きない。夕方までテントの数は増え続けた。Nさんは酒を飲まないのでも早めに一人酒して暗くなったらすぐ寝床へ。石がゴロゴロしているがマットで何とか寝られそう。トイレが1時間待ちの行列なのが一番の困りごとである。此处ではさすがに小でもやれる所はないので。

翌朝、薄暗い内からカメラを手に大勢の人がカール方面を眺めて立っている。通常はご来光で東方面を向くのだが此处は全く逆で全員西側を向いている。日の出は見

られない場所のようだ。モルゲンロート現象が始まった、皆さんこれを待っていたのだ。

モルゲンロート



今朝は氷点下になったが、防寒対策をシッカリしてきたので全く寒くはなかった。今日の日程はNさんお任せで、午前中に屏風の耳まで往復、午後はパノラマコースの上部を1周する事になる。屏風の耳は昔紅葉期に一人で新村橋を渡ってそこで靴を脱いで持参した缶ビールを3本飲んでユックリ涸沢を見下ろしてアルプスの大展望を眺めて写真を撮った思い出の場所である。初めてリバーサルフィルムを使用した時だ。だが涸沢へ着いたら小屋は布団一つに3人との事が発覚し、急遽予定を変更して横尾山荘まで下って泊まった。そして翌日槍沢経由で天狗原の天狗池で絶景に酔いしれた事が懐かしい。登山者が多く道が狭いので時間がかかる、我々にはそんなに足場が悪いとは感じないのだがのろのろ慎重に歩く人が少なからずいるので時間がかかった。快晴で屏風の耳からの展望は素晴らしかった。槍ヶ岳から前穂高

岳まで、そして甲斐駒ヶ岳や富士山、常念岳～蝶ヶ岳。北穂池や奥又白池方面も望める。

北穂高岳・涸沢岳・奥穂高岳



槍ヶ岳～北穂高岳



涸沢全景



ユックリしたい所であるが次から次と登って来るので長居は出来ない。戻って涸沢ヒュッテのテラスで名物のおでんをつまみにビールを飲みながら紅葉見物。

Nさんと涸沢ヒュッテテラスで



昨日よりは空いてきた。午後はパノラマコース上部を見晴台～ザイテンの分岐経由で涸沢小屋へ。何故か登山道脇のナナカマドが紅葉していない木が多く見かける。他の場所のナナカマドは紅葉しているのだが。ザイテングラードを上り下りする登山者の姿が見える。私は3回歩いたが、何故かあそこでは息が上がって休む回数が多かった。(涸沢でビールを飲んでから登るせいかな?) 昨年秋には滑落事故が多発した所だ。

涸沢上部で



涸沢槍



屏風の耳と常念岳



吊尾根と前穂



前穂の5～6のコルが良く見える。あそこを越えて奥又白池へ行きたかったのだが単独では踏ん切りがつかず、中畠新道経由で登った。涸沢ヒュッテのテラスで缶ビールを飲む。

昔この小屋に泊まって翌日南陵経由で北穂高岳に登り、涸沢岳～奥穂高岳～穂高岳山荘（泊）～白出沢経由で新穂高温泉へ下った事を思い出す。その時に座った席でくつろぐ。

テント場が空いてきたので寝心地の良さそうな所にテントを移動して早めに寝る。

明日は午後から上高地は雨降りとの情報なので早めの出発になりそうだ。

3日目、雨に会いたくないので早めにテントを撤収して下山する。昼頃には降雨予報の上高地に着きたいので。所が横尾の手前で雨が降り出す、早すぎるぞ！。横尾のトイレの屋根下で上だけ雨具を着用して急いでバスターミナルを目指す。ザックカバーをしたので昼飯を取り出すのも面倒でとうとう行動食も取らずに腹を減らして上高地着。たいした降りでもなく、明神で雨も止んだので良かったが。食堂で食べようとしたが、満席で待ち時間ありなので諦めてバスに乗って沢渡のPへ。以降ろくな食堂も見当たらないまま道の駅風穴の里の食堂で遅い昼食。

Nさん宅経由ですずむし荘で入浴して帰宅した。入浴後の体重が72KGと全く減量しなくてガッカリする。恐らく最後のテント泊山行になったし、素晴らしい紅葉をユックリ見られて感激でした。沢山写真を撮ったので記念に大きく引き伸ばして部屋に飾ろうと思う。

赤沼 健治